

## ただいま玉ねぎ実験中



畑で顔をのぞかせている玉ねぎを見つけました。(西保育園のお友達が植えてくれていました。)  
「これ大きいね」「(一か所が凹んだ玉ねぎを見て) こっちのは虫が食べたのかな」など気付いたことを友達や保育者に伝えながら収穫を喜んでいた4歳児です。

他にも畑で変わった葉をした野菜を見つけると「これって何になるのかな」「大根の葉っぱに似てるな」「でも形と大きさが違うね」と図鑑と見比べながら調べる5歳児の姿もありました。



「お店で売ってる玉ねぎとちょっと違う」ということに気づいたAちゃん。「どうしたら皮がパリパリでもっと茶色になるのかな」とつぶやくと「干してみたら?」「水に浸けたらいいと思う」「もう1回土に埋めておく」などみんなから色々なアイデアが出たので、ただ今実験中です。



自然物の栽培や収穫などを実際に体験する事で、子ども達の気づきや発見、ワクワクした気持ちが日々膨らんできているように感じます。

そんな5歳児の姿を見ていた3歳児が興味津々で畑にやってきました。掘り返した土の中からカナブンの幼虫を見つけ、一緒に虫探しの始まりです。「ここ掘ってごらん」「この幼虫触ってみる?」と優しく声を掛けていました。自然に直接触れる体験を通してその楽しさを共感しながら遊んでいます。

